vol.401
農政連情報誌

みどりの風

2023
6
令和5年

今月の表紙「日曜日の田植え」（撮影：南 友理 様）　第11回 未来に伝えたい農業・農村の風景フォトコンテスト入選作品

CONTENTS

■祝🌸当選🌸県議会議員選挙結果
■藤木しんや活動報告
■参議院議員 藤木しんや氏コラム
■参議院議員 山田としお氏コラム
■地域農業のリーダー
■中央会・連合会からのお知らせ

あぜみち

岸田文雄首相が打ち出した「異次元の少子化対策」。年頭の記者会見で言及し、大きな話題になった。「異次元」という言葉が独り歩きし、施策の具体的中身はまだ決まっていない。先月示された「次元の異なる少子化対策」のたたき台では、今後3年間を「集中取り組み期間」と位置づけ、①経済的支援、②保育、③働き方改革の3本柱を掲げた。防衛費増額の議論と同様に、少子化対策の関連予算を倍増する考えを示したが、具体的な中身はこれからということらしい。その財源についても全く触れていない。

国会で急に出てきた言葉に「N分N乗方式」というフランスで導入された制度がある。子どもの数が多いほど所得税が軽減される仕組みである。さらにハンガリーの少子化対策では、出産を控えた夫婦は360万円を無利子で借りられ、子供が生まれるごとに返済が延長、3人産めば全額返済不要となる。子供を4人産んだ女性の所得税はゼロになる。他にも子供が2歳になるまでは祖父母にも育児手当が出るなど国のGDP（国内総生産）の5％を少子化対策に予算化するほどの充実ぶりである。まさに異次元の取り組みだ。

一方、先日わが国では、出生数が初の80万人割れという驚くべきニュースが飛び込んできた。平成29年に政府が発表した推計は、80万人割れを令和14年と見込んでいたことから、10年超早いペースで少子化が進んでいる。

このことは、一方で減少が続く基幹的農業従事者や地方人口の減少にも大きく影響を及ぼすことになろう。

祝当選

熊本県議会議員選挙結果

熊本県議会議員選挙の投票が4月9日に行われ、農政連が公認・推薦した候補者33名のうち、次の通り30名がめでたく当選されました。政策協定に基づく実践と、県政・農政の課題解決に向けたご活躍を期待致します。

農政連公認

農政連推薦

選挙区	推薦候補者名	政党名 当選回数
熊本市第一区	松村　秀逸	自現③
	南部　隼平	自現②
熊本市第二区	髙島　和男	自現③
	竹﨑　和虎	自現③
荒尾市	前田　敬介	無現②
玉名市	城戸　　淳	無現②
	坂梨　剛昭	自現②
玉名郡	内野　幸喜	自現⑤
合志市	髙木　健次	自現⑤
	池永　幸生	自現②
菊池郡	中村　亮彦	自現③

選挙区	推薦候補者名	政党名 当選回数
阿蘇市	岩本　浩治	自現③
阿蘇郡	河津　修司	自現③
上益城郡	増永慎一郎	自現⑤
宇土市区	西山　宗孝	自現③
宇城市・下益城郡	末松　直洋	自現③
	吉田　孝平	自現③
葦北郡	荒川　知章	自現②
球磨郡	緒方　勇二	自現④
天草市・郡	楠本　千秋	自現③
	西村　尚武	自現②

参議院議員

Fujiki Shinya
activity report

藤木しんや

活動報告

農家の声を国政に！

4つのVision

① 生産現場からの声を国政に届け、実現します

② 食料安全保障の強化の実現を目指します

③ 中小・家族経営、中山間地農業への更なる理解と支援の拡充に取り組みます

④ 地域の拠り所であるJAの取組を後押しします

藤木しんやプロフィール

農林水産大臣政務官（令和4年8月就任）
参議院議員2期目（平成28年7月初当選）

【所属委員会(参議院)】
農林水産委員会
東日本大震災復興特別委員会

【これまでの主な役職】
農林水産大臣政務官
参議院自由民主党　副幹事長
自由民主党　農林部会　副部会長
参議院自由民主党　国対副委員長
東日本大震災復興特別委員会　理事

農家・農業の未来のため全力で頑張ります

スウェーデン農相との会談

鹿児島県雪害被害の現地視察

野村哲郎農水大臣へ申し入れ
（飼料高騰対策）

農民の健康を創る会に出席

令和4年度九州酪農
青年女性会議で講演

地理的表示（G1）登録証授与式

全国農政連推薦・県農政連公認

参議院議員藤木しんやの 永田町でも百姓宣言

「食料安全保障の確立をいかに」

【統一地方選を終え、それぞれの信念に向かう】

4月の統一地方選、県内でも県議会議員選挙をはじめ多くの各級地方議会の選挙が行われました。私は、国会の隙間を縫うように全国各地にお邪魔し、かつて青年部活動を共にした仲間や後輩の元へも駆けつけました。そうした仲間が皆、地域の信頼を勝ち取り選挙戦で勝利したこと、全国各地にいるということは本当に心強いことです。

選挙戦で各地の農家の皆さまと話をしますと、生産資材の高騰が苦しい、地域から若者がいなくなり農地の継承をどうすればいいのか、毎年の鳥獣被害も頭が痛いなど多岐にわたる話題が飛び交いました。なかでも、日本の食料安全保障については相当関心が強まっています。

近年の新型コロナウイルス禍やウクライナ情勢など有事の際、海上輸送の封鎖や輸入資源の停止などが現に行われ、資材・食料価格が急騰し状況が一変しました。日本の食料自給率は38％とされていますが、100％輸入頼みの石油及び輸入に多くを頼る種子や肥料、飼料などが枯渇し、備蓄が十分になければ国民が飢餓に直面するリスクが考えられます。

しかし、現在輸入している農作物すべてを国産で賄うには、今の国内の農地の2倍の面積が必要となります。国産品だけで、全ての国民の胃袋を満たしていくことは到底できません。

現実的な備蓄、それから増産も考えていかなければなりませんが、不測の事態においても一定の輸入を確保することは極めて重要となります。今もウクライナあるいはロシアからの小麦がなかなか入りにくい状況ですが、代替国としてカナダから小麦を入れています。

また、肥料の中でも輸入の9割を中国で占めていたリンは、中国が自国向けの生産に踏み切ったため、日本にリンが入らなくなりましたが、その代替国としてアフリカのモロッコから輸入しています。日本との友好国や、輸入にきちんと応えてくれるような国と常日頃から、不測の事態が起きても輸入させてもらえるよう外交的な交渉を続けなければなりません。

もちろん、国内で生産できる資源の活用や循環型農業の推進をしっかりと進めることも重要です。こうした状況を打破すべく持続可能な農業・農村づくりに向け尽力していきます。

▲デジタル田園都市国家構想実現会議に出席

全国・県農政連推薦

参議院議員山田としおの 農政問題に斬り込む

かけがえのない「故郷と農業とJA」を大切にします

【地方議会議員選挙で、これまで応援いただいた皆様に恩返しすべく飛び回りました】

東京を早朝一番の新幹線で出かけることが多かったですが、車窓からの景観は見事でした。広々とした関東平野は、雪を抱いた山々を控え、田んぼは緑に覆われており、本当に素晴らしい。小高い丘には、白い桜の花が咲き誇っていました。田んぼには何を植えるのでしょうか、野菜か、稲苗か。日本の農業者の素晴らしい働きです。まさに美しい国土。そして木々は芽を膨らませていました。

こうした景色を見ると、「何が出来るのか、何を主張できるのか。この素晴らしい山々と、青空と、田んぼの力を合わせて、日本の農業をどう元気にするのか」「緑いっぱいの豊かな農業と農村と農業者を、どう元気にするか、頑張らなければならない」と奮い立たされます。

【見事な富山平野の大麦・稲作・大豆作】

私の地元である富山県では、毎年春になると海と国道との間に、きれいに並んだ畝が作られます。それら畝には大豆が植わっています。広々とした水田には、一面緑の苗が植わって、風にそよいでいます。随所で野焼きの煙も上がっている。春に向けての準備がなされているのです。美しい景観です。

私の故郷は、石川県境の「倶利伽羅峠」の麓です。源氏の木曽義仲と平家の平維盛が闘い、源氏の義仲が牛の角に松明をつけて襲い掛かり、平家軍を深い谷に追い落として源氏が勝利し、平家から源氏へ政権が代わったきっかけをつくった地です。

そこにある埴生八幡宮は、義仲が戦勝祈願をした八幡宮です。峠には倶利伽羅不動寺があり、その谷は今も「地獄谷」と呼ばれて恐れられています。地域の皆で、埴生八幡宮と倶利伽羅不動寺を大切にしているのです。このことを胸に刻み、家族を、地域を、仲間を守り、日本を支える、その誇りをもって、私も頑張ります。

▲国会議事堂前に富山の無花粉スギを植栽

～JAたまな青壮年部活動報告～

JAたまな青壮年部は、今年度から役員が新体制となり、塘内貴大部長を中心に、6支部201名で活動しています。組織力強化・発展を目指し新たな気持ちで活動に取り組んでいます。

主な活動と今後の取り組み

農政活動の強化を重点事項に掲げ、盟友1人ひとりが地域農業のリーダーとして、農業政策への理解醸成を図る研修会に積極的に取り組んでいます。

令和4年度は、県選出国会議員へ農政課題に関する要請を行ったほか、近年では、玉名市長や農水省職員との意見交換会を実施しました。ポリシーブックの改定を進めており、今後政策提言集としてより一層積極的な活用に努めます。

また、16年目を迎えた「我が町特産物PRポスターコンクール」については、毎年1、000点を超える作品応募があり、多くの子どもたちに地元農産物の魅力を知ってもらう活動を続けています。

そのほか、農業体験を通じて学生とコミュニケーションをとりながら地域に根ざした食農活動に取り組むなどJAの事業運営にも積極的に参画しています。

今後は、関係機関や他地区の青壮年部との交流を密にとり、農業技術のスキルアップに向けた研修会実施に向けて活動していきます。

JA YOUTH

（各支部及び盟友数）

支部名	盟友数
荒尾	22
岱明	12
玉名	40
横島	80
天水	42
和水	5
合計	201

●農政活動（県選出国会議員への要請活動）

▲西野太亮衆議院議員への要請
（JAたまな・JA熊本市青壮年部合同）

●他青壮年部との交流

▲JA鹿本青年部菊鹿支部視察受け入れ

●食農活動

▲ポスターコンクール表彰式の様子

▲サツマイモ収穫体験の様子

JA中央会

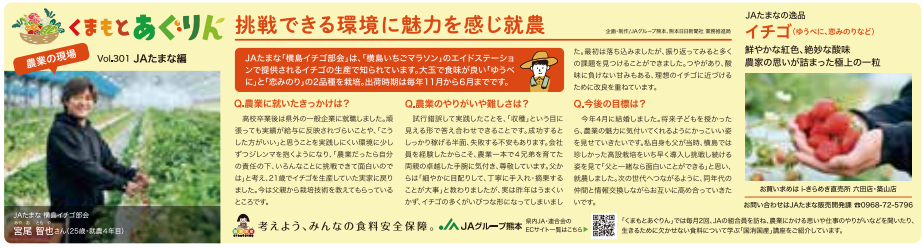
令和5年度 JAグループ熊本発行の広報資材リニューアル

現在JAグループ熊本では、熊日新聞との共同企画として月2回（第2、第4日曜日）の熊日朝刊で「くまもとあぐりん」を掲載しています。また、本県農業・JAに関する情報を県民向けに発信するため、フリーペーパー「Hug」を発行しています。この度、令和5年度発行分よりリニューアルを行いました。

「くまもとあぐりん」については、各種資材等の価格高騰を受け、広報対策の一つとして重要となる農畜産物の価格転嫁の実現などにつなげるための「食料安全保障」の重要性や「国消国産」の周知など、国民への理解醸成に資する取り組みとして「知識提供の回」を新たに設定しました。また、生産現場の状況や県産農畜産物の消費拡大等の情報発信を行う「生産者の回」については今年度も引き続き掲載します。

「Hug」については、レシピコーナーの監修に初のレストラン・シェフを起用。「九州の一級河川の水源が複数あり、平坦地から中山間地まで新鮮な農畜産物が一年を通じてバランスよく手に入る熊本の恵まれた食材、ふるさとの魅力をもっと伝えていきたい」と語る、アンティカ・ロカンダ・ミヤモトオーナーの宮本けんしんシェフ。家庭の食卓のテーブルを飾る新しいレシピを紹介していきます。

▶「Hug」フリーペーパー（偶数月発行）



▲「くまもとあぐりん」熊日新聞（日曜朝刊月2回掲載）（生産者の回）

JA経済連

令和5年産新茶初入札会を開催

～最高価格は1キロあたり7万7777円～

JA熊本経済連は4月18日、益城町の同連茶入札場で令和5年産一番茶の初入札会を開きました。県内の4つのJAから出品された86点、2458.4kgを指定茶商16社が色や味、香りを確かめ入札しました。1キロあたりの最高価格は7万7777円で、工藤隆行さん（JA菊池）が出荷した「さえみどり」。平均単価は3628円。

熊本県経済連茶生産流通協議会専門部会の斉藤敏春部会長は「冬の寒さや適度な降雨など天候に恵まれ、おいしく良質なお茶ができている」と話しました。

▲出品された令和5年産新茶

同連の梶原哲専務は「多様な消費者ニーズに沿った生産と安定販売の強化、茶商や関係機関と連携した消費拡大に取り組む」とあいさつしました。

同連での令和5年産茶の取扱数量は660トン、取扱金額は約6億4000万円を計画しています。

▲茶の感触や香り、色などを確かめる茶商ら

JA共済連

JAの自動車共済お見積りキャンペーン実施中!!

ただいま、JA共済では熊本県限定で「自動車共済お見積りキャンペーン」を実施中です。

JAの自動車共済にご加入の方も、ご加入でない方も、キャンペーン中のこの機会にJAの自動車共済をお見積りされてみませんか?

お見積りされた方の中から、抽選で合計100名様(各期25名様)に、「ラッセルホブスの電気ケトル」をプレゼント!湯量が調節しやすく、普段使いはもちろん本格的なコーヒータイムが楽しめます。さらに、Wチャンス賞として「コップ付き高機能ボトル」を年間合計2、000名様(各期500名様)にご用意しています。また、お見積りをされた方には、もれなく「仁くん杏ちゃんクルマ用ポリ袋」をプレゼントします!

現在、第1期のご応募を受付中です。お見積りの際には、現在ご加入されている自動車の保障内容が分かるもの、運転免許証、車検証をご準備下さい。

詳しくは、お近くのJA窓口までお気軽にお尋ねください!

【応募期間】
第1期:令和5年4月1日~令和5年6月30日
第2期:令和5年7月1日~令和5年9月30日
第3期:令和5年10月1日~令和5年12月31日
第4期:令和6年1月1日~令和6年3月6日

熊本県下で総計2,100名様に当たる!!

A賞 Russell Hobbs 電気ケトル
100名様(各期25名)

Wチャンス賞
はずれた方にもWチャンス
コンパクトで使いやすい
コップ付高機能ボトル
グリーン・ピンク・ブルーの3色からおひとつ※色はお選びいただけません。
2,000名様(各期500名)

お見積りをしていただいた方にもれなくプレゼント

仁くん杏ちゃん
クルマ用ポリ袋
※なくなり次第終了となります。

JA厚生連

風疹について

風疹とは、伝染力の強い風疹ウイルスが原因であり、潜伏期間は2~3週間ですが、大人になってから感染すると症状が長引くなど重症化することがあります。

また、感染は人から人へ伝播しその感染力は、非常に強いと言われています。

さらに、免疫が不十分な妊娠20週頃までの女性が感染すると、『先天性風疹症候群』に罹患する可能性があり、眼や心臓、耳等に障害を持つ子供を出生することがあります。

●風疹の原因

ウイルス感染症であり、主な感染経路は次のとおりです。

- 感染者の唾液や粘液との直接接触
- 咳やくしゃみによる空気を媒介しての飛沫感染
- 妊婦から胎児への垂直感染

●風疹の症状

感染すると約2~3週間後に手足や全身への小さな赤い発疹、リンパ節の腫れが主な特徴です。

子どもでは比較的軽いのですが、まれに脳炎、血小板減少性紫斑病などの合併症が、発生することがあります。

また、大人が感染すると、発熱や発疹の期間が子どもに比べて長く、重度の関節痛が発症することもあります。

●風疹の治療

風疹の症状自体は重いものではなく、自然治癒していくため安静にしていれば問題ありません。

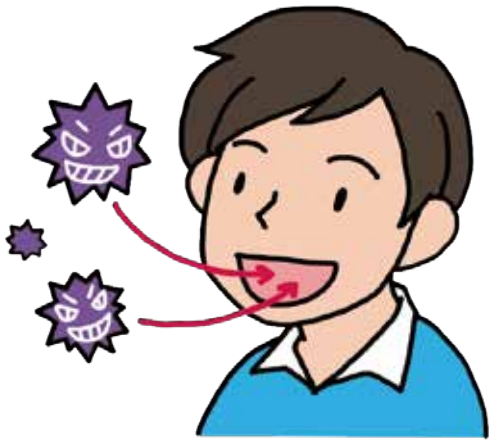
まれに合併症を引きおこし、重症化するケースがありますが、症状が重い場合には、症状を緩和する対症療法がおこなわれ二次感染予防のために、抗菌薬が使われることもあります。

●風疹の予防

予防接種が最も有効な予防方法といえます。

一度感染すると免疫が出来るため、再感染の可能性は低く、感染しても重度の症状が出ることはありません。

風疹にかかったことがあるかどうかは血液検査で調べることが出来ますので、風疹抗体検査が未受診の方は、医療機関に相談しましょう。



もしものときの、頼れる保障。

クルマスター
自動車共済

JAの自動車共済クルマスターなら、
充実した保障とサービスを
ムダなくお得に備えられます。

くらしの保障、相談するなら
JA共済

※ご加入にあたりましては、お近くのJAへお問い合わせください。
■JA共済ホームページアドレス https://www.ja-kyosai.or.jp

23481050096

あとがき

立春から数えて88日目を「八十八夜」といいます。立春はいつかというと、うる年の関係で2月3日か4日となるようです。

立春は二十四節季において春の始まりを指す日となっています。ちなみに立春と春分の違いは判りますか。立春は「春の始まりの日」を指し、春分は「昼と夜の時間が等しくなる日」を指します。

さて、この八十八夜のころは、春と夏の変わり目で、気候が暖かく穏やかになり、稲の種まき準備や茶摘みのシーズンになります。八十八夜のうち新芽を摘んで作られる新茶（一番茶）は、古来より不老長寿の縁起物として上等なものとされています。新茶は栄養にも優れ、おいしさも格別です。

ちょっと値は張りますが、日本人ならではの贅沢としていただきたいものですね。

「頑張るお母さん!」

撮影：大羽 くるみ 様
第11回 未来に伝えたい農業・農村の風景
フォトコンテスト入選作品

発行／熊本県農業者政治連盟
熊本市中央区南千反畑町2-3　電話 096-328-1284
編集責任者／中村　隆宏
●発行日／令和5年5月15日・毎月1回15日発行
●定価／1部50円（但し、会員の購読料は会費の中に含む）